

月刊

# 書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No 68～

令和元年（2019年）



編集長 渡邊 啓子

一般社団法人日本書字文化協会

代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3階

電話 03-6304-8212 FAX 03-6304-8213

Eメール info@syobunkyo.org



## 目次（全8ページ）

- ◇「せんひきそび で ひらがな」刊行・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◇上記テキスト使用の夏期講習会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◇コラムころろ（大平恵理・書文協会長）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◇第1回新・硬筆指導者ライセンス試験実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◇第4回臨書展優秀作品展開催へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ◇第8回総合大会のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◇十竹齋便箋を使う体験会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

第8回総合大会の実施要項、指定課題が  
決まりました。  
ホームページフロントページにあるバナー  
を左クリックして下さい。リンクしています。

大平恵理書

# 令和

# 「せんひき あそび で ひらがな」

## ～幼児の文字書き準備テキストを8月発行～

書文協の活動の目標は、正しく、美しい日本語の継承・発展です。一方で今、子供たちの日本語離れが進んでいます。月に一冊も本を読まない子ども、書かないから文字・言葉をどんどん忘れていく子どもが増えています。

こうした中で学習指導要領が改訂され、小学校から高校まで、一貫して硬筆書写が重視される機運となりました。このテキストはこれを受けて企画されました。

まずは、幼稚園・保育園児の時代から文字書きに親しむ子供を育てたい、と思います。幼児に文字への興味関心を持ってもらうことは、幼稚園教育要領などでも大事なことでされています。具体的にどう取り上げるかが現場での次のテーマです。こうしたニーズに応えるのがこのテキストです。

筆者は、鉛筆など硬筆についての著書が多数ある書文協会長、大平恵理（下記、プロフィール参照）。園児に1冊、このテキストをぜひお渡しください。

著者・大平恵理ごあいさつ

### 日本語に親しむ子に



書文協は、正しく・美しい日本語の継承発展を活動の目標にしています。日本語離れが進むと言われる中、小学校から高校まで一貫して硬筆書写が重視される流れとなって来ました。文字を書かなくなってきた子どもたちに文字書きに向かってもらうチャンスと考えます。その基礎を作るのが就学前の園児のころです。幼児たちは実は文字・言葉に強い興味を持っていることが、これまでの活動からよく分かっています。遊びの中からでいいから、文字を、言葉を書く基礎を身に付けてくれれば、という思いからこのテキストは生まれました。縦、横、斜め・・・線を引く遊びの中から、鉛筆を持つ姿勢、紙に伝える筆圧などひらがなを書く力が身に付き、語彙も豊富になっていきます。これが、国際時代の教育が掲げる「理解力、判断力、表現力」を養う基になるでしょう。

### 大平恵理プロフィール

昭和40年（1965年）、東京都生まれ。大東文化大学卒。二女の母故氷田光風氏らに師事。書写の実用性と書道的美を併せ持つ平明で美しい書風は、専門家から「用美一体を究めた」文字として評価されています。長い間、全国大会の毛筆・硬筆お手本や検定試験手本の揮毫を担ってきました。主な市販本に「ドラえもん学習シリーズ字がきれいに書ける」（小学館）「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」（KADOKAWA 角川書店）「美しい文字が書ける 脳活ペン字練習帳」「同実用編」「ことばであそぶ ひらがな」（以上3冊は朝日新聞出版）など。

# テキスト使用の夏期講習会開催

この「せんひきあそび で ひらがな」(幼児の文字書き準備テキスト・仮称)は、書文協が持つノウハウを集約しました。発売開始は8月1日を予定しています。このページの注文票にてお申込みください。7月20日までにご注文いただいた場合は1割引き+消費税とし、8月下旬までにお届けします。送料はご負担ください。

著作 大平 恵理 編集・発行 日本書字文化協会

体裁 A4判 64ページ

価格 1冊 700円+消費税

内容 縦・横・斜め・ジグザグの線引きからひらがなが書けます。ひらがな46文字を全て取り上げ、園児たちに実際に書いてもらうページが46ページ。ひらがなは書文協制定の「ひらがな難易度表」に基づいて、一番簡単な「こ」から始めます。

おはし(箸)と、えんぴつ(鉛筆)の正しい持ち方は自然と身につけてきます。正しい姿勢の取り方の單元もあります。「ことば」の單元では1字から4文字までの言葉も登場。かわいいイラストに色塗りするコーナーも設けます。

## 夏期講習会

日時 8月8日(木) 10:00~16:00

場所 中野ゼロホール(中野区立もみじ山文化センター) 学習室

使用テキスト 「せんひきあそび で ひらがな」

受講料 10,800円(教材、資料代含む)

定員 40人(申込み先着順)

.....

## 夏期講習会申込書

FAX 03-6304-8213 書文協問い合わせは03-6304-8212

申込団体名・団体番号

---

代表者 講習会参加者名

---

住所 〒

---

電話番号 FAX番号

---

注) 振込み証書を添付してお申し込みください

<振込み先> 郵貯銀行 口座名義一般社団法人日本書字文化協会  
口座番号00130-1-728113

# こ ろ

大平 恵理（書文協会会長）

## ギュー!! とあそんで ひらがな

幼稚園・保育園のちびっ子たちに、ひらがな 46 文字を書いてもらうテキストを書文協から 8 月に刊行することになりました（2 ページ参照）。まだ仮題ですが、テキストの名前は「せんひき あそび で ひらがな」（線引き遊びで平仮名）にしようかな、と思っています。

就学前に字を覚えよう、という早期学習が目的ではありません。遊びが本職の園児たちが、えんぴつを持って楽しく、縦・横・斜め・ジグザグに線を引いているうちに、正しくひらがなを書くことが身についてしまう、という本です。指導事例豊富な書文協のノウハウを結集しました。

ひらがなは、いろんな線から出来上がっています。曲り、折れなどが面倒ではありますが、書文協制定の「ひらがな難易度表」に従って、簡単なひらがなから始めます。一番簡単なのは「こ」です。大きなマス目に書きこまれた薄墨色の字をなぞって字形の細部を覚えます。

書き易さ、難さをいくつかの点から数値化して順に並べたものが「ひらがな難易度表」です。書文協が日本で（たぶん）初めて制定しました。数値化の主なポイントは①何筆で書くか②折れ、折り返し、曲り、そり、接し方、交わり方などがどの程度入って入るか③書く人の感覚、などです。この結果、一番易しいのは「こ」、最も難しいのは「む」となります。

そして、何より強調したいのは、こうしてひらがなを書くうちに、園児たちはえんぴつを持って「ギュー!!」と紙に指先から力が伝わることを覚えるのです。つまり紙に筆圧をかけ、文字を書いていく感覚を覚えるのです。この感覚が文字書きの基礎です。その意味で「ギュー!!」はとても大事なのです。だから、本の名前も「せんひき あそび で ギュー!!」にしようかと思ったのですが、これじゃ分からない、という声も強くやめました。

そして、文字書きから文字・言葉への関心を高めた子どもたちは、文章力が求められるこれからの学校養育に適合していってくれると思います。文字力は学力の基礎、というのが書文協の経験則ですが、今回のテーマではありません。



# 第1回新・硬筆指導者ライセンス試験

## 初級試験の筆記と実技の範囲を公開

2020年2月の創設10周年を前に、検定・ライセンス（資格）試験制度の見直しを進めている書文協は、今月末から6月1週にかけて、初の新しい指導者ライセンス（資格）試験を実施します。楷書も行書も、さらには上級者は草書を含め硬筆の全てを網羅したライセンス試験です。ライセンスは初級、中級、上級、師範の4段階に分かれ、今回は初級試験です。

### 誰でも受験可、えんぴつ・ペン文字練習帳から出題

中学生以上なら検定を受験していなくても誰でも受験できますが、ライセンス試験には筆記と実技試験があり、いずれも硬筆課題検定（通称・新硬筆検定）のテキストとして使っている「えんぴつ・ペン文字練習帳」（15巻シリーズ）から出題されます。

「えんぴつ・ペン文字練習帳」（写真）はB5判64ページ。漢字や文章の内容などから学年相当制になっていて第1巻（小学1年生標準）から第7巻（中学1年標準）、第10巻（高校1年標準）、第13巻以上（大学・一般標準）となっています。検定テキストとして使われていますが、硬筆の全体を学ぶ自学自習テキストでもあり、生徒一人ずつに与える学校も増えています。

### 初級試験の概要

- 試験場** 事前申請により書文協が認めた場所。申請は団体でなくとも個人でもできますが、後半ランクでは書文協
- 試験時間** 120分（途中休息时间なし）
- 問題文** 試験開始直前まで、書文協から届いた問題文の封を切らない。

### 筆記試験では記述式も出ます

穴埋め、選択のほか、「評価の観点」に基づいた評価の仕方を求める「次の文字について、評価の観点を書き入れなさい」という問題も出ます。また、実際に評価する力を見る「次の3点の作品について添削しなさい」という問いも。指導する能力を見るために短文を書いてもらいます。例えば「消しゴムを使うことについて学習者にどのように説明しますか。100字以内で書きなさい」など。また、言葉を大事にする観点から「以下の検定課題文の感想を200字以内で書きなさい」という問いも。

### 実技試験では課題文を実際に書いてもらいます

- ① ひらがな46文字を書く
- ② えんぴつ・ペン文字練習帳第1巻のどれか1課題
- ③ 同第2巻のどれか1課題
- ④ 同第3巻のどれか1課題
- ⑤ 第1～第3巻第3部の配当漢字から30文字



# 第4回臨書展の優秀作品展を開催

書文協主催の第4回臨書展は3月26日締めきられ、前回の約20%増882点が応募されました。厳正な審査で大賞その他が決定しました。優秀作品の展示会は5月31、6月1、2日の3日間、青梅市沢井で開かれます。

## 第4回臨書展構成

主催 一般社団法人日本書字文化協会  
後援 青梅市日本中国友好協会 中国書法学院 NPO 法人日中文化交流促進会  
中国国立南京芸術学院日本校 国際芸術家連盟（以上、日本）  
蘇州・寒山寺 蘇州呉昌碩研究会（以上、中国）  
部門 臨書の部 （1）自由課題 （2）常設課題（漢詩・楓橋夜泊）  
楷書筆写の部 （トップの大賞は臨書の部から）

上位入賞者は次の通り。これらの方の作品は優秀作品展示会で展示されます。また、同展示会では、書文協書写書道専修学院青梅教室の生徒の作品も展示されます。

## 第4回臨書展特別賞受賞者

※学年はいずれも前学年

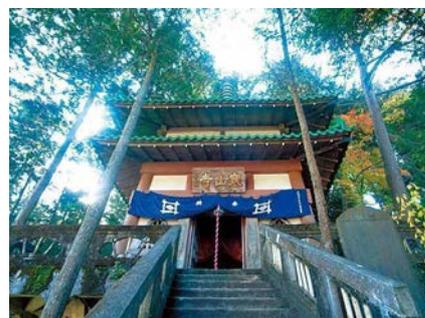
賞名	受賞者	学校名学年（在住地）
大賞	小林 真歩	東京都・二松學舎大学2年
中央審査委員会賞	平川 香恋	大阪府・上宮太子高等学校2年
日本書字文化協会会長賞	杉本 龍峰	一般（山梨県甲府市）
青梅市日中友好協会会長賞	横田 海斗	東京都・大田区立千鳥小学校3年
日中文化交流促進会理事長賞	大平 麗雅	東京都立向丘高校2年

以下、優秀賞

- ◆平尾優奈（東京・中野区立桃花小学校2年）
- ◆中村陽歩（東京・青梅市立河辺小学校3年）
- ◆米田琴音（大阪・吹田市立岸部第二小学校3年）
- ◆鮫島麻里菜（東京・光塩女子学院初等科4年）
- ◆関口美夢（東京・青梅市立第二小学校4年）
- ◆高橋舞（大阪・吹田市立千里第一小学校4年）
- ◆平野菜央（東京・光塩女子学院初等科4年）
- ◆佐藤萌々香（神奈川・横浜市立あざみ野第一小学校6年）
- ◆坂本百合（神奈川・横浜市立立山内中学校2年）
- ◆池田萌華（神奈川・横浜雙葉高校1年）
- ◆大平知雅（東京・二松學舎高校1年）
- ◆竹内菜永（東京都立昭和高校2年）
- ◆六佐阿侑香（大阪・緑涼高校3年）
- ◆谷口紅音（大阪府）
- ◆佐藤育嗣（一般 千葉県千葉市）

## 優秀作品展

会期 2019年5月31日（金）～6月2日（日）  
日時 11時から16時（最終日は15時30分）  
場所 澤乃井ガーデンギャラリー  
（東京都青梅市沢井2-770 小澤酒造株式会社内）  
電話 0428-78-8215



# 第 8 回総合大会

## 課題最終決定。硬筆コンで一部変更

第 8 回総合大会（「ひらがな・かきかたコンクール」「全国硬筆コンクール」「学生書写書道展」）3 コンクールの課題、実施要項が最終的に決まりました。（ホームページに掲載）。

課題は全国硬筆コンで月刊書字文化5月号で発表されたものと一部変更されています。ホームページの「大会」項目に掲載されているものが最終決定課題です。ご注意ください。

## 応募締切

### ひら・かきコン 7 月 26 日、他は 9 月 16 日

ひらがな・かきかたコンクールは小学校 3 年生以下に参加資格が限定されており、締切も一足早く 7 月 26 日（金）となります。他の 2 コンクールの締め切りは夏休みを超えて 9 月 16 日（月）。自分の学びを確かめる意味で積極的に出品しましょう。記念アルバム、表装で学びの足跡を残すことも検討してください。

## 学生展席書は 9 月 8 日までに開催

学生書写書道展席書の部は開催期間が決まっています。7 月 20 日（土）から 9 月 8 日（日）までに開催していただきます。開催の 2 週間前までに開催認定申請書を書文教に送っていただき、認定を受けることが必要です。

## 賞（予定を含む）

賞（予定）は前回と同様で、各コンクールのグランプリは文部科学大臣賞です。硬筆コンと学生展双方で優秀な作品を応募した人の中から、総合の部として書字文化賞を若干名の人に送ります。総合の部のグランプリも文部科学大臣賞です。



## 参考手本は 5 月末アップの予定

ひらがな・かきかたコンクールの参考手本はすでにホームページにアップされています。学生展、硬筆コンは 5 月末にホームページに掲載予定です。自由にダウンロードして使えますが、印刷されたものも販売されます。

# 中国伝統の便箋で書く体験会

## 7/14 東京都文京区、鳩山会館で

来たる7月14日(日)午後5時から6時半まで、東京都文京区音羽の鳩山会館で、中国の伝統的な便箋の「十竹齋箋譜」に硬筆、毛筆で書を書く体験会を開きます。参加できるのは書文協の生徒と保護者ら。体験会は晴れていれば、鳩山会館の庭園で行います。雨天の場合も会館内で実施します。参加費は無料。人数に限りがありますので、関心のある方は早めに書文協にお問い合わせください。

## 十竹齋箋譜に硬筆でも可

十竹齋(じっちくさい)は中国の文化団体。十竹齋ブランドは中国の伝統的なブランドとして有名で、十竹齋箋譜(せんぷ)には400年ほど前に掘られた美しい木版画が添えられています。その便箋に毛筆や鉛筆、ペンで文字を書き、中国の伝統文化に触れる体験会です。別に、希望者には半切用紙も用意されます。

## フリードリンク・軽食、便箋のお土産も

体験会ではフリードリンクコーナーや簡単な夕食を取るコーナーも設けられる予定です。スペースがあれば、同伴の保護者も文字書きにも参加できます。

夏の夕方の一と時、是非参加ください。体験会終わりには、十竹齋箋譜などがお土産に出される予定です。

中国の書法(日本の書道)と日本の書道の交流は、双方の文化を理解するために欠かせません。主催はNPO法人日中文化交流促進会。在日中国団体、日本の書道界各団体が後援の予定です

## ロケ地で知られる鳩山会館

鳩山会館は、内閣総理大臣を務めた鳩山一郎の邸宅を記念館として一般に公開した建物。テレビ映画「花より男子」などのロケ地としても知られる。



(写真はホームページから)